

いづか市民マナビネットワーク（e-マナビ）事業について

飯塚市 中央公民館 主査 松本 聖吾

1. 事業名 「いづか市民マナビネットワーク（e-マナビ）事業
2. 事業の目的 生活の全般に関わる分野において、増大する市民の学習要求に対応する指導者を発掘養成し、その活用を図ることによって市民の相互教育、相互学習の機会を高めるとともに、連帯感及び相互援助の精神を培い、もって活力ある生涯学習社会の形成に資するため、市民相互の学習ネットワーク事業を行うこととしています。
3. 事業の実施主体 いづか市民マナビネットワーク運営委員会
4. 事業概要
 - 1) 開始時期 平成 21 年 9 月
 - 2) 開始までの経緯

平成 18 年 3 月に 1 市 4 町による合併で誕生した「新」飯塚市において、生涯学習の振興と地域コミュニティの構築を推進するため、市民が主体となった「いつでも・どこでも・だれでも」の学習環境を備えていくことが本市の教育課題の一つであったことから、先進事例も参考にしながら本事業を実施することに至りました。この学習事業は、教育の原点は社会教育であり、社会教育の財産は地域の人材であるとして、人類は古来から生きていくためには「知っている人」が「知らない人」に教える、「できる人」が「できない人」を訓練するといったシステムにより地域社会を発展させてきたという原始的なものに着目しているものです。
 - 3) 事業の特色

飯塚市は、近畿大学理工学部や近畿女子短期大学、及び九州工業大学があることから「学園都市」という構想をもっておりますが、この e-マナビ事業は人と人が学び合う「学縁都市」を目指しているものです。マナビを必要としている人が学級を構成し、できる人から学ぶという学級生主体の学習となっています。また、飯塚市は「協働のまちづくり」を目指しており、e-マナビ事業は市民同士で教え合うということで協働の一環を担っています。
 - 4) 事業の運営

(主体) 運営委員会・・・事業の企画・運営を担当
委員長 1 名 (立ち上げから就任 前教育長)
副委員長 1 名 (有志指導者代表)
委員 4 名 (有志指導者・学級生代表・生涯学習ボランティアネットワーク事業事務局長・

公民館主事)

監査 2 名 (有志指導者・中央公民館長)

(事務局) 自主運営を目指していますが、事業が軌道にのるまでは市が関与することとし、係長・担当・嘱託職員で事務局事務に対応しています。

年に 2 回の全戸パンフレット配布や館報による広報、学級の開催等の事務を中央及び 12 地区公民館で対応しています。

5) 事業のコンセプト (概念・精神・モットー)

- ・現在のキャッチフレーズ 「つながる・ひろがる わたしの学縁」
- ・いつでも、どこでも、誰とでも学べる機会を提供する“学縁”作り
- ・「1回、2時間程度、350 円で」という「1・2・3」で学ぼう

6) 事業の内容

- ・開催場所は自由 (公立や自治公民館、事業所、学校、個人の家など)
中央公民館共催事業により公立公民館の使用料は 10 割減免、事務局が教育委員会に共催申請を行うことにより学校関係施設も 10 割減免となっています。

- ・受講料は 1 回、2 時間程度、350 円 (学級生負担の原則)

4 回を 1 セットとし、学習料は 4 回分を前納とします。4 回 1 セットとしている理由は、一通りの学習を行って学級を継続していくかどうかの判断をつける区切りとしているためです。4 回目の開講中に次回からの開講について学級内で話をしてもらい、続ける学級生が 5 名以上存在する場合に継続となります。その場合、次回からの 4 回分の学習料を前納します。学級生の都合により休んだ場合は、学習料の返納はいたしません。有志指導者の都合により休講となった場合に、代替日が確保できないときは返納いたします。

- ・その他の必要経費は学級生負担

会場使用料、教材費など。

- ・有志指導者は、市民の中から原則他薦で公募

なお、年に 1 回認定講習会を開催し、本事業における指導者としての心得を学んでいただきます。その受講者のみを有志指導者として認め、認定証を発行します。有志指導者にはボランティア精神で指導していただくため、講師謝礼金は支払わず費用弁償として 1 回の指導につき 1,500 円を支払います。また、認定証の有効期限を 1 年間とし更新制度としておりますので、有志指導者は毎年認定講習会を受ける必要があります。

- ・有志指導者と学級をつなぐ役目を事務局が担います。

5 人以上の学習グループに指導者の斡旋や、指導者からの希望で学級生を募集したりといった事務を行っています。

7) 学級開講までの流れ

- 有志指導者 1 名と学級生 5 名以上の学級を作ります。

- ・公募学級) あらかじめ学習項目、時間、場所等を事務局側で決めておいて、公民館報等の広報を使って学級生を募集します。

- ・自主学級) 学びたい項目について、学級生側で 5 人以上の集まった上で事務局に相談し、有志指導者をつけてもらいます。

- ・途中参加) 学級生が 5 人集まらない場合に、現在同じ学習項目で開講している学級の有志指導者に、事務局から紹介してもらいます。
 - 学級ができれば 4 回 1 セットの開講になります。
 - ・学級は、学級生の自主運営となりますので役員を決めます。
学級長) 学級のまとめ役で、指導者と学級員の連絡調整役です。
会計係) 学習料を集めて事務局に支払います。
会場係) 学習会場における予約や手続きを行います。
 - 開講 4 回目に、続けたい人が 5 人以上であれば学級が続きます。
- 8) 学習種目について
- 平成 25 年 6 月 7 日の総会時点での学習種目は、趣味・おけいごと、家庭生活・日常生活、スポーツ・レクリエーション、教養、伝承文化のジャンルに計 62 種目の学習項目があります。有志指導者の中には、複数の学習種目を兼ねている指導者もいることから、57 名の登録となっております。(別紙 1 参照)
- 9) マスコットについて



マナビー



ふくろう



パンフレットなどの広報に用いるマスコットについては、当初は左のマナビーと名付けた、子どもを学級生に見立てて幸運の 4 つ葉のクローバーをかぶったものにしておりましたが、現在は学問の象徴としても名高い「ふくろう」も採用しております。大きい 1 羽を有志指導者として、5 羽いる小さいものを学級生に見立てております。この「ふくろう」は、家庭では子どもに色々な生活の知恵を教える「おふくろ」的な要素を、有志指導者に見立てる意味合いも込めております。

5. e-マナビ事業が目指すもの

e-マナビ事業での学習は、その成果が生活に応用されることを目標としております。身近な生活に役に立つ内容を学ぶのに、教育者ではない「生活のベテラン」である市民から学ぼうとするものです。人間は、必要とされれば元気になります。必要とされた人がより元気になり、その知識を得た人が新たな指導者になって、元気の輪が広がっていくそんなイメージを理想としています。

e-マナビの延べ学級数は、総会時の数値で平成 22 年度は 14 学級、平成 23 年度で 26 学級、平成 24 年度で 38 学級と順調に増加しており、延べ学級生数も 1,310 人から 2,451 人、5,248 人と増えております。このまま順調に輪が広がっていったら、いずれは自主運営ができるまでになれることを目指しております。

(問合せ先)

〒820-0041 飯塚市飯塚 14 - 67 コミュニティセンター内 中央公民館
電話) 0948-22-3274 FAX) 0948-22-3609